

平成30・令和元年度「世田谷9年教育」研究開発校

CM(カリキュラム・マネジメント)スクール

# 「対話的で深い学びの実践」

～カリキュラム・マネジメントスクールによる教育活動の充実に向けて～



## 船橋希望学舎

世田谷区立船橋希望中学校  
世田谷区立船橋小学校  
世田谷区立希望丘小学校  
世田谷区立千歳台小学校



# 研究構想図

## 〈学び舎の教育目標〉

- 豊かな人間性を育む
- 豊かな知力をつける
- 健やかな体を育てる

## 〈児童・生徒の実態〉

- 友達と協力したり、話し合ったりする活動に意欲的に取り組む。
- 自信がなく、自分の考えをすすんで表現できない児童・生徒が多い傾向がある。
- 教師や友達の話を聞く態度に課題がみられる。
- 個人で課題解決をする活動を楽しむことができる児童・生徒とそうでない児童・生徒の二極化がみられる。

## 〈育てたい児童・生徒像〉

- 自分の考えをすすんで表現しようとする子ども
- 対話的な学びを通して、自分の考えを広げたり、深めたりできる子ども

## 〈研究仮説〉

他者と協働して、対話的な学びが生まれるような学習活動を行い、その楽しさや価値を実感することを積み重ねることにより、すすんで自分の考えを表現したり、考えを広げたり、深めたりしようとする子供達が育つであろう。

## 研究主題 「対話的で深い学びの実践」

～カリキュラム・マネジメントスクールによる教育活動の充実に向けて～

## 〈研究主題達成のための手立て〉

### 演劇的手法

一人一人が何かの役割になり、考えたい状況や立場に身をおくことを通して、体験的に学習を行う手法。

**考えが表現しやすくなるとともに、表現と理解の相互循環を促す。**

**考えを受け止める力を育てることで、相手の表現する力を引き出す。**

### NIE(Newspaper In Education)

新聞を授業で教材として活用し、興味や関心の幅を広げる活動。

**実社会に関する情報に触れることで、対話を活性化し、考えや学びを深める利点がある。**

### 学校図書館の利活用

様々な図書資料から得た情報をもとにして、友達と交流し、考えを深めたり、広げたりする活動。

**一人一人が資料を選択して調べることにより、対話する必然性を高める。**

対話的で深い学びを実現するために教科を問わず、有効な場面で3つの手立てを学習活動に取り入れて実践する。成果と課題をふり返り、対話的で深い学びを実現ため、単元名、学習活動をあげて、カリキュラム・マネジメントされた年間指導計画(演劇的手法、NIE、学校図書館の利活用)を作成する。

学校の各校のホームページへのリンクもあります。



# 実践研究【船橋小学校】

## 演劇的手法

### 演劇的手法を活かした授業づくり

#### 演劇的手法を活かした授業づくり



#### 実践例①

授業の導入では、相手との距離感を体験できるよう、伝えたい相手に届く声で話しかける活動を取り入れた。4人組で距離の違う3人に後ろを向いてもらい、呼ばれたと思う人に手を挙げてもらった。

#### 児童の変容

位置によって声の強弱、抑揚が変わってくることに気付くことができた。想像できることの自由度が高いため、児童が楽しみながら活動することができた。



#### 実践例②

メインの活動では、台本を読むだけでは意識しなかった互いの位置や距離感、人物ごとの感情の違いを意識できると考え、落語「じゅげむ」の一場面を班ごとに工夫しながら演じた。

#### 児童の変容

グループで話し合いながら劇を作ったことで、一人芝居ではどのような工夫ができるかを考えることができた。声の強弱や間の取り方等の工夫をするなど表現の幅を広げることができた。また、今回の演劇的手法を用いた授業を行ったことで、学芸会の練習にも活かすことができた。

## 年間指導計画(第4学年)

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行事							学芸会の練習(15)				
国語	白いぼうし(9)			いわたくんちのおばあちゃん(7)	落語「じゅげむ」(7)	新聞の工夫を知ろう(3)	ごんぎつね(9)				レポーターになろう(10)
社会			写真に題名をつけよう(5)	新聞を作ろう(2)		新聞でニュースを伝える(16)					
算数	折れ線グラフ(6)		暮らしをささえる水(14)								
教科 【日本語】		ことばって おもしろい(1)			衣食住について 調べよう(4)		東京のまちを歩いた人 後藤新平(12)				
総合	ゴミとリサイクル(6)						しりょうの整理(5)	社会科見学の まとめしよう(3)			
体育		表現運動・ リズムダンス(16)					福祉の心(6)				
道徳	1学期：感謝 節度、節制 生命の尊さ 礼儀 自然愛護 相互理解、寛容 公正、公平、社会主義 国際理解、国際親善 個性の伸長 規制の尊重 友情、信頼 勤労、公共の精神 2学期：家族愛、家庭生活の充実 親切、思いやり 希望と勇気 努力と強い意志 善悪の判断、自律、自由と責任 自然愛護 公正、公平、社会主義 友情、信頼 節度、節制 3学期：伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 相互理解、寛容 よりよい学校生活、集団生活の充実 感動、敬愛の念 正義、誠実 生命の尊さ										



# 実践研究【希望丘小学校】

## NIE

### 演劇的手法を活かした授業づくり

### 総合的な学習の時間

### 「新聞記事を読んで考えよう(NIE)」

#### ● 読みとき新聞ワークシート



#### ● まわし読み新聞



**実践例①** 4年生から6年生の学級毎にその月の主なニュース記事から実態に応じた内容を選択し取り組んだ。手順は、①記事を選ぶ。②キーワードを書き出す。(5W1Hに着目)③意見・感想を書く。

**児童の変容** 当初は記事からキーワードを見付けることに苦労していた。しかし、学習を重ねる毎にキーワードを的確に捉え、自分の意見・感想を豊かに表現できるようになっていった。また、自分の立場をはっきりさせて意見を書く児童が増えた。その他にも、友達と意見交することで多角的な視点で物事を捉えることができるようになった。

**実践例①** 5年生・6年生にて実践した。まわし読み新聞の特徴の1つは、興味をもった記事の紹介から、自然とコミュニケーション能力を身に付けられることができる点である。作成の手順は、①班で1つの新聞を回し読みする。②気に入った記事を切り取る。③記事の内容を友達に説明する。④グループの記事を集めて貼り、新しい壁新聞を作成する。

**児童の変容** いつでも誰でも行える手軽さを感じられた。友達と意見交流することで、コミュニケーション能力の習得に繋がった。壁新聞の作成ではまとめの表現方法を工夫する児童も見られた。また、情報リテラシーの習得など、様々な力を身に付けることができた。

## 年間指導計画(第6学年)

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時数
行事	始業式	運動会	希望っ子まつり	終業式	始業式		展覧会	終業式	始業式	希望っ子ミニコンサート	6年生を送る会 修了式 卒業式	
国語	竜(7)	このニュース、わたしはこう思う(4) ニュースと編集について(3)	わたしたちの言葉(4)	文末の表現(1) 紅鯉(5)	だいち(2)	まほう使いのチョコレートケーキ(7) よさを伝える広告(5)		場面に応じた言葉(1) 説得力のある意見(2)	短歌を作る(7)	平和な世の中を築くために(8)	雪わたり(4) あいたくて(1)	
社会		武士の政治が		全国統一への動き(4)	にぎわう都市、花開く文化(7)			平和で豊かな暮らしをもとめて(12)	憲法とわたしたちの暮らし(8)	日本のつながりの深い国々(8)	世界の人々とともに生きる(9)	
教科「日本語」	詩(1)	詩(1) 短歌(1)	日本の舞台芸術にふれよう(4)	漢詩(2)	俳句(2)	漢詩(1) 古文(1) 俳句(1)	一冊の本から深めよう心を(2)			論語(1)	ことばっておもしろい(1)	
総合		新聞を読んで考えよう(NIE)(1) 日本の文化を学ぼうみかぐら(16)	日光について調べよう(7)		日光についてまとめよう(4)		新聞記事を読んで考えよう②(NIE)(4)	新聞記事を読んで考えよう③(NIE)(4)		日本の伝統文化を引き継ごう(4)		
体育	表現運動(3)	表現運動(3)										
道徳	よりよく生きる喜び 生命の尊さ 善悪の判断、自律、自由と責任 個性の伸長 友情、信頼 よりよい学校生活、集団生活の充実 規則の尊重 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 国際理解、国際親善 親切、思いやり 感謝、節度、節制 正直、誠実、勤労、公共の精神 家族愛、家庭生活の充実 真理の探求 自然愛護 公正・公平 社会主義、相互理解 感動、畏敬の念 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 希望と勇気、努力と強い意志、相互理解、寛容 礼儀											



# 実践研究【千歳台小学校】

## 学校図書館の活用

### 学校全体での取組

- ◎ **読書指導** 児童が、学校図書館司書が作成した「千歳台ブックリスト」を基に本を選ぶことにより、学年相応の本に親しめるようにした。そして、年間を通して読書記録をつけ、積み重ねが実感できるようにした。また、教科の学習内容に関連した本を用意し、読書の幅が広がるようにしている。
- ◎ **情報活用指導** 図書の時間に学校図書館司書と連携し、低学年は十進分類法や目次、索引について、中学年からは図鑑、百科事典の使い方など、発達段階に応じて指導を行っている。低学年の時から系統的に指導することで、図書資料で調べるときに必要な基礎を身に付けられるようにしている。

### 学校図書館を活用した授業づくり

#### ◎ 授業実践例 1 年生 国語科「としょかんへいこう」

**実践例** まず、動物の名前が書いたカードをグループごとに配り、その動物が出てくる本を集めた。次に、集めた本の背表紙にある分類番号を確認し、本には分類番号（本のお部屋）があること、番号ごとに本の種類が違うことに注目させた。その後、実際に自分の借りる本を選んだ。

**児童の変容** 本を探す時に「お話の本は9分類、知識の本は4分類。」というように分類を意識して探すようになった。また、自分が選んだ本が何分類かを意識して、本を選ぶようになってきている。



## 年間指導計画（第1学年）

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	くちのたいそう(2)	にくをくわえたいぬ(6)	どうぞのいす(8)	しっぽしっぽ(2) えにききをかこう(10)	おおきなかぶ(10) としょかんへいこう(4) かんじのはじまり(4)	いぬのきもち(9) かぞえうた(4) あいしてゐるから(6)	ぼうしのはたらき(8) みのまわりのいきもの(13)	わたしのよんだ本(10)	きよだいなきよだいな(18)	なにができるかな(8)	夕日のしずく(10)
生活	きれいにさいてねわたしのはな(14)								ふゆとともだちになろう(10)		
教科「日本語」	はる・なつとともだちになろう(8)				あきとともだちになろう(4)				むかし遊び(6)		
音楽	ひらいたひらいた(1)	いろいろなものになりきってみよう(2) なぞなぞをたのしもう(1)	はくをかんじてあそぼう(3) かたつむり(2)	はくをかんじてリズムをうとう(10) たなばた(1)	水遊び(8) 飛び箱を使った運動遊び(2)	水遊び(4) 飛び箱を使った運動遊び(3)	はるなつあきふゆ(1) きらきらぼし(1)	はるなつあきふゆ(1) きらきらぼし(1)	にほんのうたをたのしもう(2)	みんなでたのしく(2)	みんなでたのしく(4) うれしいひなまつり(1)
体育	走の運動遊び(1) 多様な動きをつくる運動遊び(7)	リズム遊び(4) マットを使った運動遊び(2)	走の運動遊び(1) 多様な動きをつくる運動遊び(7)	水遊び(8) 飛び箱を使った運動遊び(2)	水遊び(4) 飛び箱を使った運動遊び(2)	水遊び(4) 飛び箱を使った運動遊び(2)	跳び箱を使った運動遊び(3)	跳の運動遊び(8)	跳の運動遊び(8)	表現遊び(2)	表現遊び(2)
道徳	1学期：よりよい学校生活、集団生活の充実感謝態度、節制生命の尊厳相互理解、寛容公正、公平、社会主義個性の伸長友情、信頼勤労、公共の精神親切、思いやり善悪の判断、自律、自由と責任 2学期：家族愛、家庭生活の充実親切、思いやり希望と勇気、努力と強い意志善悪の判断、自律、自由と責任国際理解、国際親善自然環境規則の尊重公正、公平、社会主義友情、信頼節度、節制伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度相互理解、寛容正直、誠実礼儀 3学期：伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度勤労、公共の精神希望と勇気、努力と強い意志相互理解、寛容善悪の判断、自律、自由と責任礼儀節度、節制親切、思いやり生命の尊厳感動、畏敬の念友情、信頼										



# 実践研究【船橋希望中学校】

N I E

演劇的手法

## 「特別の教科 道徳」恩人探しています



「特別の教科 道徳」の授業では新聞記事として実際に取り上げられたエピソードを使い、感謝の気持ちを相手に伝わるよう行動することの大切さについて考える授業を行った。記事に登場した人がどのような気持ちだったかを考え、意見を共有し、さらにその場面を劇で表現することにより、優しさや思いやりの大切さを身近に感じることができた。また、本授業での取組を校内研修で深く考察し、新聞教材を使うことで、興味・関心をもつ生徒が増えることや新聞を活用する際は、どの教科のどの単元で使えるか見通しをもつことが大切であるということを校内で共有した。

## 教科「日本語」オリジナル短歌と演劇づくり



第1学年の教科「日本語」の授業では、アゴラ企画の皆さまをゲストティーチャーにお招きし、「オリジナル短歌と演劇づくり」の授業を行った。2時間構成の授業で、前半はグループでの短歌作成、後半では短歌をもとに演劇づくりに取り組み、実際に発表した。発表に至る話し合いのプロセスでは、どのような役を演じるか、どういった構成にするかなどそれぞれのグループが一つの演劇を作ることを通して協働的に活動に取り組んだ。また、授業の最後にそれぞれのグループの取組の良さを評価し生徒相互で共有することができた。

# 年間指導計画(第2学年)

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	おたまじゃくしたち四五匹 昔話 逃げることは、ほんとうにひきょうか 吟味された言葉 サークスの馬 短歌										
社会			日本のさまざまな地域								
数学										確率	
理科								気象のしくみと天気の変化			
総合					職場体験		演劇教室	オリパラ講演	校外学習		
日本語	対話の基礎	私のニュース解説	率直な自己表現	ビブリオバトル	絵や写真から伝わるものを表現しよう		コマーシャルの秘密	※総合に振替			
音楽			鑑賞・楽典								
技術							D.情報に関する技術 ○情報と私たちの生活 ○情報通信ネットワークについて ○計測制御について				
英語					have to 助動詞 will must 将来の夢			街紹介			私の好きなこと
道徳		日本人としての誇り 働くということ 社会のためにできること 誰めない心	家族の絆 恩人探しています	強く気高く生きる 心を形に 規則の役割 自然の偉大さ				いじめへの公正な態度 働く生命 ネット上の責任ある態度			



# 成果と課題

## 成 果

学舎での9年間教育の中で、学舎の3つの小学校すべてが同じ目標をもって取り組んだ経験は、中学校に進学した際に、様々な活動の中でより発展的・応用的に取り組む力になることが期待できる。

小学校の段階でNIEの取組や演劇的手法を用いた表現の実践、さらに図書館の利活用を進めていく中で、児童・生徒は研究テーマである「対話的で深い学び」を行う素地が培われた。

### <演劇的手法を用いた表現>

- 国語や道德の授業で、実際に演じてみることで心の内面に気付くことができた。
  - 理科では専門家になったつもりで調べようとすることで学習への意欲が高まった。
  - 中学校でも、授業で演劇的手法を用いて演じてみることで心の内面に気付くことができた。
- 発達段階に応じて課題を工夫することで、小学校でも中学校でも有効な手段となる。

### <NIE>

- 新聞記事に慣れ親しむ活動を通して、新聞を身近に感じ、新聞を手にとって読む姿が以前より増えた。
- 新聞記事の内容についての自分の考えをもち、対話する活動に意欲的に取り組むことができた。
- 中学校では、複数の新聞に触れ紙面の比較を行うことができた。また、新聞記者から記事の書き方を学ぶことを通して、見出しの工夫をしたり、限られた時数で要点をまとめたり経験ができた。

### <学校図書館の利活用>

- 学年に応じて図書の分類を意識させることで、読み物以外の本にも興味をもち、利用者が増えた。
- 調べ学習の際に、教科書や資料集以外の本からも情報を得て、学習に広がりが見られた。
- 中学校では、学年別にビブリオバトルを実施したり、図書委員会による本の紹介をしたりすることなどにより、生徒の本に対する興味を高め、図書館利用が促進できた。

## 課 題

小中学校それぞれが様々な実践と研究を重ねてきたが、まだ小学校間や中学校との連携という視点では不十分な部分があり、学舎の日などに情報を交換して、9年間を見通した計画性のある教育活動に高めていくことが課題として挙げられる。また学校内でも、教科横断的な授業を計画・実践していくことに加え、あらゆる教育活動の中で「対話的で深い学び」につながる実践を行い、児童・生徒の成長につなげていく必要があると考える。

### <演劇的手法を用いた表現>

- 子供たちに演劇的手法を繰り返し体験させ、学習に深まりをもたせたい。

### <NIE>

- 学習活動に適している記事を選定する際のシステムをつくるようにしたい。

### <学校図書館の利活用>

- 学校図書館司書との連携をさらに深め、発達段階に応じた内容の指導を系統的行っていききたい。



## ご指導いただいた先生

劇作家・演出家	平田オリザ様
日本新聞協会NIEコーディネーター	関口修司様
アゴラ企画演出家	田野邦彦様
東京学芸大学教育学部准教授	渡辺貴裕様
東京都NIE推進協議会事務局長	白戸一範様
江戸川区立東小松川小学校校長	田中孝宏様
新聞教育支援センター代表	吉成勝好様

### 終わりに

船橋希望学舎 代表校長 世田谷区立船橋希望中学校長 菅野 茂男

このCMスクール研究開発校のお話を頂いた2年前、これからの教育は教科や領域といった一定の分野にこだわってはいは進歩が望めない、とだけ心動かされた。NIEと学校図書館の利活用は少しばかり経験があったものの、演劇的手法については未知の部分が多かったため、まずは平田オリザさんの著書を読ませていただいた。

この研修を進めてきた中で学んだことがある。それは、対話的な学びや深い学びを通し、思考力は「身につけるもの」、表現力は「引き出すもの」という考え方を教師はもっているべきであるということである。もちろん、小中学生が読書や新聞を読む習慣によって培われる思考力や表現力はその基礎として欠かすことができないのは言うまでもない。

この研修を進めるにあたり、世田谷区教育委員会をはじめ、多くの方々のご協力、ご支援をいただいたことに深く感謝をするとともに、今後この研究成果を船橋希望学舎の教育課程や児童・生徒の学びにいかしていくことを決意するものである。

## 研修資料及び研究発表会の資料について

船橋希望中学校ホームページ <http://school.setagaya.ed.jp/tfuu/>

上記URLより、船橋希望中学校ホームページの研究のページをご覧ください。

※船橋小学校、希望丘小学校、千歳台小学校の各校のホームページへのリンクもあります。

